



10年目のえびな
健康マラソン
志政会 市川 敏彦

問 毎年、多くの市民が参加され、盛大に開催されている健康マラソンも、今年で10回を迎えます。

過去9回の実績と評価を踏まえ、今年を取り組み内容と今年の重点施策である子ども事業との連携について伺います。

答（市民協働部長）：健康マラソンは、健康・スポーツ・文化振興の年として、市民への健康・スポーツ意識付けを目的に、子どもからお年寄りまで、誰もが参加できる事業として18年度にスタートしました。

過去9回の健康マラソンでは、毎年2000人近くの参加者を集める事業となっており、昨年の実績では70歳以上の参加者が20名おり、親子での参加者が全体の約半数を占めるなど、健康をテーマとして市民に親しまれ、定着しているものと評価しています。

今年、海老名駅西口まち開きを記念し、参加者だけでなく、来場者へのまちの披露を兼ねて開催する計画です。

また、まち開き後では初めての大きな事業となることから、会場周辺の関係者にも十分な周知を行うとともに、家族での参加がより見込まれるよう、実行委員会でも十分協議した上で決定してまいります。

その他の質問

・救急について



食物アレルギー
対策について
創新海クラブ 久保田 英賢

問 市は、25年10月からアレルギーなどによる欠食者に対し、給食費還付、昨年9月からは対応給食を実施し、県内でも先進的に対応していることを評価します。全児童対象の調査結果は、実際に対応が必要な児童は14名で、そのうち対応給食を希望した児童2名に対応されたと聞いています。その後の数に変化はあったのか、また、実際に提供した児童数に変化があったのか、さらには現在もアレルギーのわかる献立表を配布しているが、国が示されているように、加工品の原材料なども把握できる献立表が必要と考えるが見解を伺います。さらに、アナフィラキシーショックに対する各学校の取り組みについても伺います。

答（教育長）：昨年度、対応給食が必要な児童のうち、提供開始当初は2名、年度途中に2名増えて最終的に4名となりました。今年度は新たに3名が代替食を希望され、合計7名に提供しています。

答（教育部参事）：現在、対象児童に通常献立のほか、アレルギーのわかる献立表を配布し、今後は加工品の成分表示も含めた献立表を研究してまいります。また、シヨックの恐れのある児童の学校では全職員がその情報共有をし、今後全校に県主催の緊急対応研修にも参加するよう促しています。

その他の質問

・待機児童解消対策について
・口腔ケア等対策について



資源化センターの改修と
リサイクルプラザの今後は
創新海クラブ 倉橋 正美

問 資源化センター大規模改修事業が進められていますが、現在の運営における施設の問題点について伺います。

また、現在計画策定中の公共施設の整備・再編計画への関連性、工事の着工時期と概算予算について伺います。併せて、この工事に伴い、リサイクルプラザの今後と敷地の公有地化について伺います。

答（市長）：耐震力については13年・14年の建設のため問題はありませんが、設備の処理能力や不良な作業環境・周辺へ及ぼす影響について課題があります。

改修に際しては、環境・経済性に優れ、安全・安心に配慮した施設にしたいと考えます。また、市の人口推計のピーク時にも余裕をもって対応できるよう、敷地も可能な限り有効利用する計画です。着工時期は、公共施設の整備・再編計画との整合性を図りながら検討します。

答（経済環境部長）：概算事業費は、15億円程度と見込んでいます。リサイクルプラザは、循環型社会を推進するために必要であるため、その機能を資源化センターに統合いたします。公有地化は相手のあることなので、慎重に進めてまいります。

その他の質問

・商工会館について



現在の資源化センター



保育士確保のために
待遇改善を
市民・ネットの会 奥村 正憲

問 戸建てやマンション建設に伴い、夫婦揃って働く若い世帯が増えると考えます。市立保育園が5園から6園になったことにより、保育士を新園に配置するため、子育て支援センター独自のサービスが一時的に減りました。臨時の非正規職員を随時募集しても、なかなか集まらない状況です。臨時保育士は、フルタイム勤務でも正規保育士同様、担任を持っています。やはり臨時でも正規並みの待遇でないと確保は難しいと思いますが、市の考えを伺います。

答（保健福祉部長）：近年における保育士確保の難しさは、横浜・川崎市などが待機児童解消を目指し、施設拡大を図っていることも一つの要因であると考えます。

市では、12年前と比べ12施設の新設、3施設で定員増が図られ、定員数が1.6倍になったことから、必要保育士数もこれに合わせて増加しているため、随時臨時・非常勤職員を募集しております。

一方で、市立保育園の保育士の待遇をあげること、民間保育園の保育士の確保が難しくなることも考えられます。保育士の確保は喫緊の課題であるため、あらゆる手法を考えて対応してまいります。

その他の質問

・学童保育クラブについて
・学校給食の異物混入とその対策について

